

就任に当たって

農林水産政策研究所長 塩川 白良



農林水産政策研究所は、農林水産省の中の唯一の社会科学の研究所であり、求められていることは、名称のとおり、農林水産政策の企画立案や意思決定の基礎となる情報を収集し、現状分析・将来予測を行い、調査研究成果の形で行政部局に提供することです。

しかしながら、それだけでなく、大学や海外を含めた様々な研究機関の研究者はもとより、広く一般国民に対して、食料・農業・農村政策の検討に資する基盤的・先導的研究、国際交渉や世界的食料需給の観点から重要な国・地域を対象とした農業政策・戦略等に関する研究などを行い、それをわかりやすい形で提供することも重要です。

就任に当たっては、このような当研究所の責務と期待を正面から受け止め、当研究所自体が農林水産政策研究の中で評価を上げていくとともに、研究者一人ひとりが学術的に水準の高い研究成果を達成し評価を上げていけるようにしていきたいと考えています。

当研究所は、行政部局と日常的に意見交換、情報交換、人事交流等を通じて密接に連携を図りながら研究を行えるという、大学や他の研究機関にはない利点がありますので、この利点を最大限に活かして活動してまいります。関係各位の今までと変わらない御理解と御支援をお願い申し上げます。